
ログイン認証

JSPの作成

4 時間目

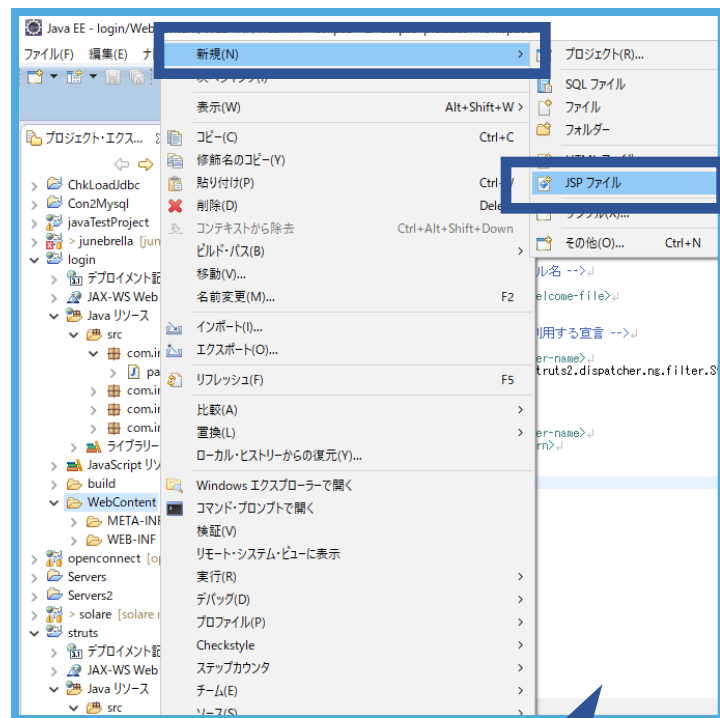
JSP (Java Server Pages) を使ってブラウザに表示する画面を作成します。
HTMLと同様<body> </body>の中に画面に表示されるコンテンツをプログラムしていきます。

1) JSPの作成

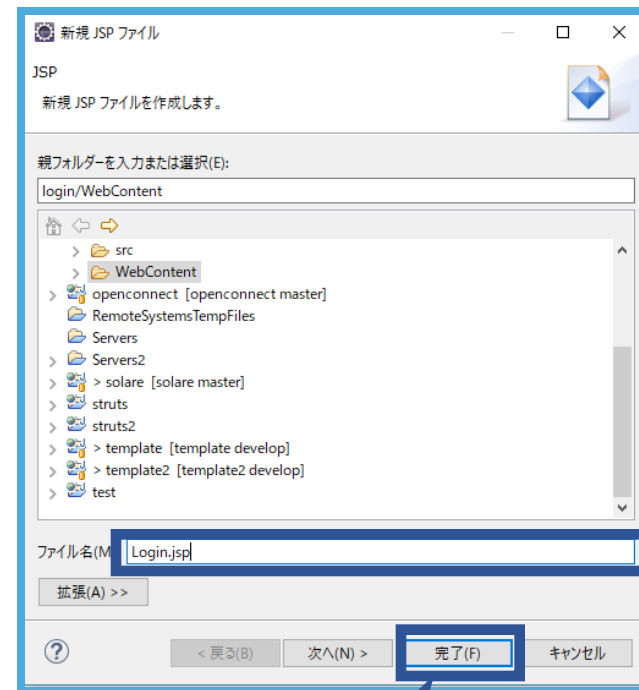
- 1 : login.jspの作成 (ログイン情報～nameとpassword ～の入力画面)
- 2 : loginSuccess.jspの作成 (ログインに成功した際に遷移する画面)
- 3 : loginError.jspの作成 (ログインに失敗した際に遷移する画面)

ログインJSPファイルの作成

1 ログインJSP



① 「プロジェクト」 「WebContent」 を右クリックし、「新規」 「JSPファイル」 を選択します。



② 「名前(M):」 欄に「login.jsp」を入力し、完了ボタンをクリックします。

JSPファイルの作成

ここまではJSPファイルを宣言するための記述なので、毎回固定になります。

login.jsp(jspファイル)

```
<%@ page language="java" contentType="text/html; charset=UTF-8" pageEncoding="utf-8"%>
<%@ taglib prefix="s" uri="/struts-tags"%>
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
  <meta charset="utf-8">
  <title>ログイン画面</title>
</head>
<body>
  <s:form action="LoginAction">
    <s:textfield name="name"/>
    <s:password name="password"/>
    <s:submit value="ログイン"/>
  </s:form>
</body>
</html>
```

strutsタグ（下の補足参照）を使用する際に記述します。ここでは"s"としてタグを使用します。

<form>タグ内の"name"と"password"をLoginActionに"submit"（送信）します。

ユーザーが入力したユーザーネームとパスワードの値に、それぞれname、passwordという名前をつけて送信します。

JSPファイルのまとめ

<s:form>

「<s:form>」で囲まれたタグに入力された情報が「action=""」で指定した「Actionクラス」へ渡されます。

「name=""」で指定した名前と同名のActionクラスのフィールドに情報を渡します。

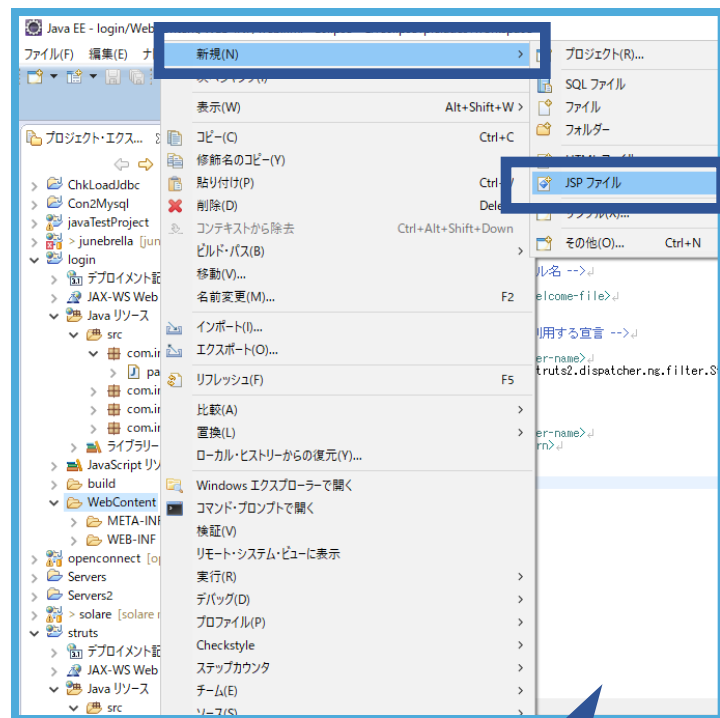
※情報が渡される前提として、Actionクラスで該当フィールドのsetterの定義が必要です。

```
<s:form action="LoginAction">  
  <s:textfield name="name"/>  
  <s:password name="password"/>  
  <s:submit value="ログイン"/>  
</s:form>
```

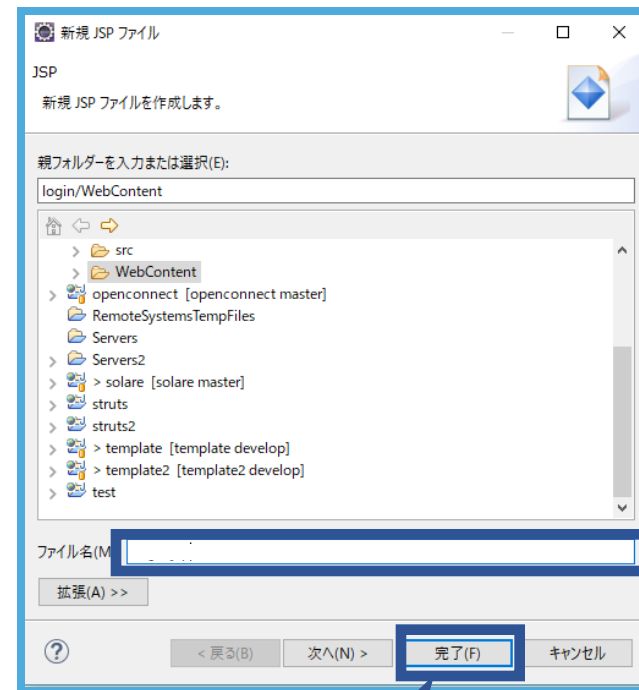
<input>タグ「type="text"」「type="password"」「type="submit"」としてブラウザで認識します。

ログイン成功JSPファイルの作成

2 ログイン成功時に表示するJSP



① 「プロジェクト」 「WebContent」 を右クリックし、「新規」 「JSPファイル」 を選択します。



② 「名前(M):」 欄に「loginSuccess.jsp」を入力し、完了ボタンをクリックします。

ログイン成功JSPファイルの作成

ログイン成功で呼び出される
JSPファイルです。

この中身はlogin.jspと同じです。

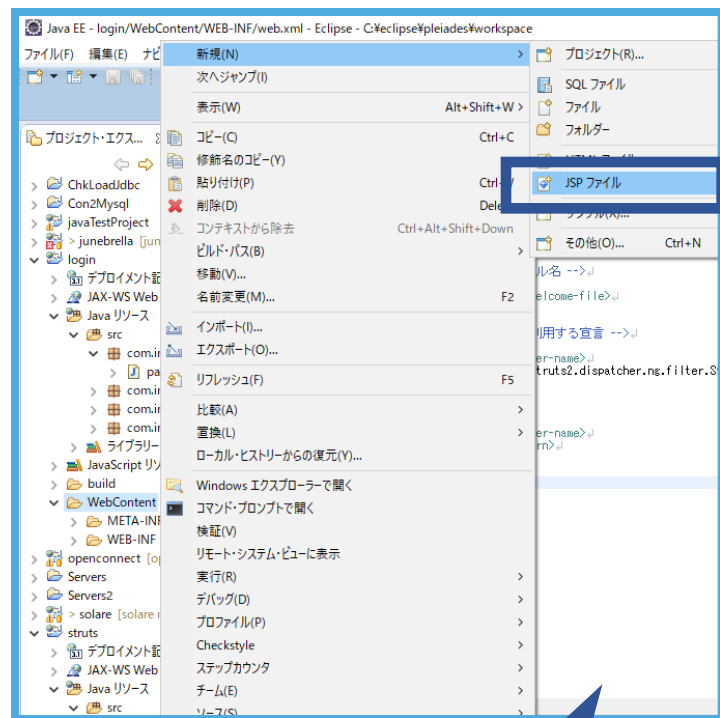
loginSuccess.jsp(jspファイル)

```
<%@ page language="java" contentType="text/html; charset=UTF-8" pageEncoding="UTF-8"%>
<%@ taglib prefix="s" uri="/struts-tags"%>
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
  <meta charset="utf-8">
  <title>ログイン成功画面</title>
</head>
<body>
  <h1>ログインに成功しました。</h1>
</body>
</html>
```

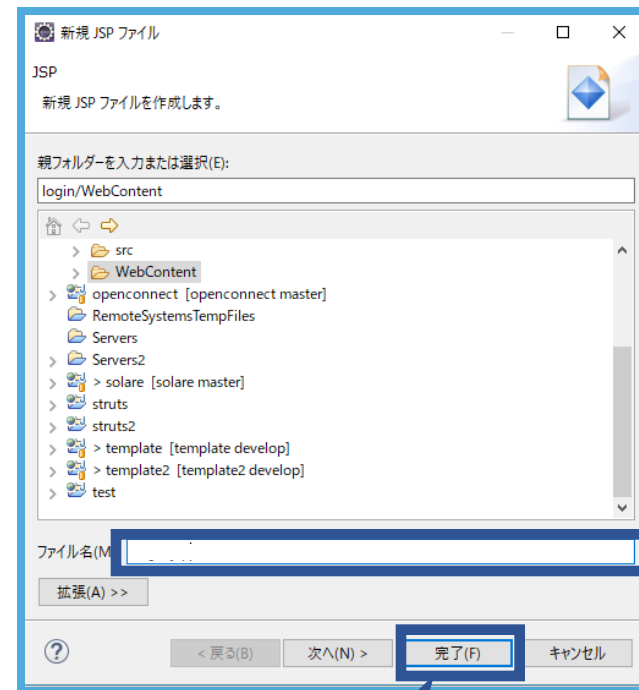
画面に表示されるのは<body>の中だけです。

ログイン失敗JSPファイルの作成

3 ログイン失敗時に表示するJSP



① 「プロジェクト」「WebContent」を右クリックし、「新規」「JSPファイル」を選択します。



② 「名前(M):」欄に「loginError.jsp」を入力し、完了ボタンをクリックします。

ログイン失敗JSPファイルの作成

ログイン失敗で呼び出されるJSPファイルです。

この中身はlogin.jspと同じです。

loginError.jsp(jspファイル)

```
<%@ page language="java" contentType="text/html; charset=UTF-8" pageEncoding="UTF-8"%>
<%@ taglib prefix="s" uri="/struts-tags"%>
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
  <meta charset="utf-8">
  <title>ログイン失敗画面</title>
</head>
<body>
  <h1>ログインに失敗しました。</h1>
</body>
</html>
```

画面に表示されるのは<body>の中だけです。